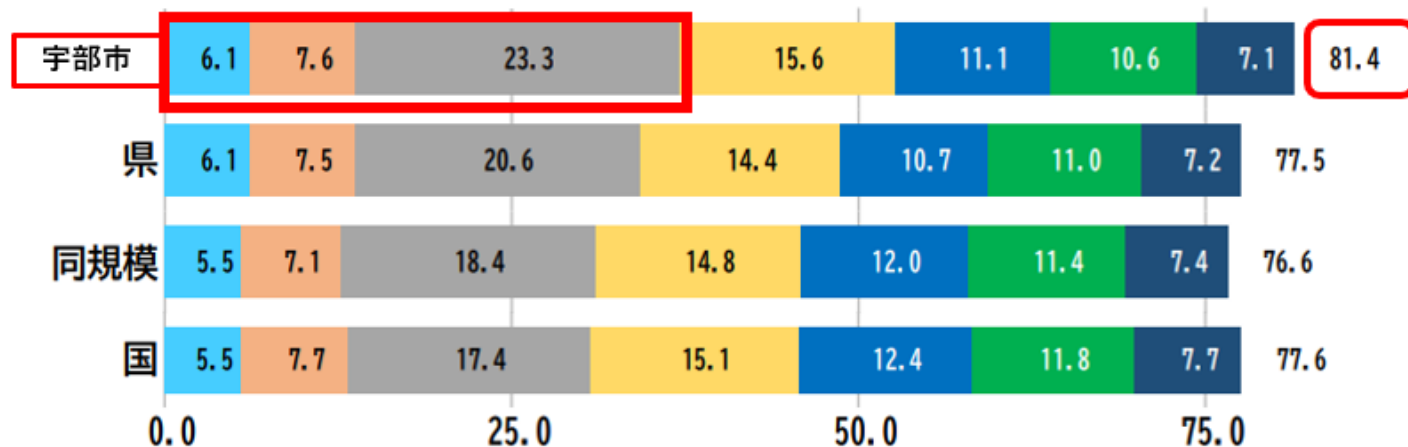


【新規】（仮称）短期集中予防サービスの導入について

介護認定の状況（R4年度） サービス利用率

■ 要支援 1 ■ 要支援 2 ■ 要介護 1 ■ 要介護 2 ■ 要介護 3 ■ 要介護 4 ■ 要介護 5

分母：認定者



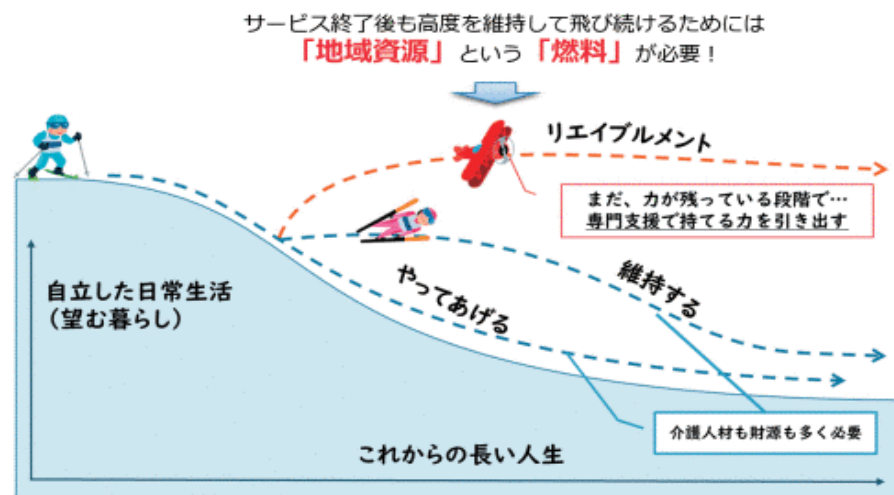
- ・ サービス利用率が高い
- ・ サービス利用率の約半分は
要支援 1～要介護1が占めている

出典：KDB健康スコアリング（介護）

3

【施策の方向性】

- ・ 軽度者への集中支援を強化することで、改善率アップを期待できる。
- ・ できなくなったことを補うサービスから専門職のアドバイスによって残っている力を引き出すサービスへの転換（再自立＝リエイブルメント）



出典：八王子市（一部改）

サービスのイメージ

利用開始前

リハ職同行訪問

地域包括支援センターが
対象者を選定



センター職員とリハビリ専門職が
一緒に自宅を訪問し、生活の困り
ごとや身体状態を確認
(地域リハビリテーション事業)

短期集中予防サービス
(週1回、3か月の通所型サービス)

セルフマネジメント向上のための
個人面談



運動機能向上プログラム
社会参加プログラム
栄養改善プログラム
口腔機能向上プログラム など

卒業（3か月後）その後の暮らし

自分らしい普通の暮らし
活動量の多い生活の習慣化



(生活支援体制整備事業)



リハ職による
アドバイス

事業対象者から
要支援2まで



3か月後の目標を
設定



プログラム
実施

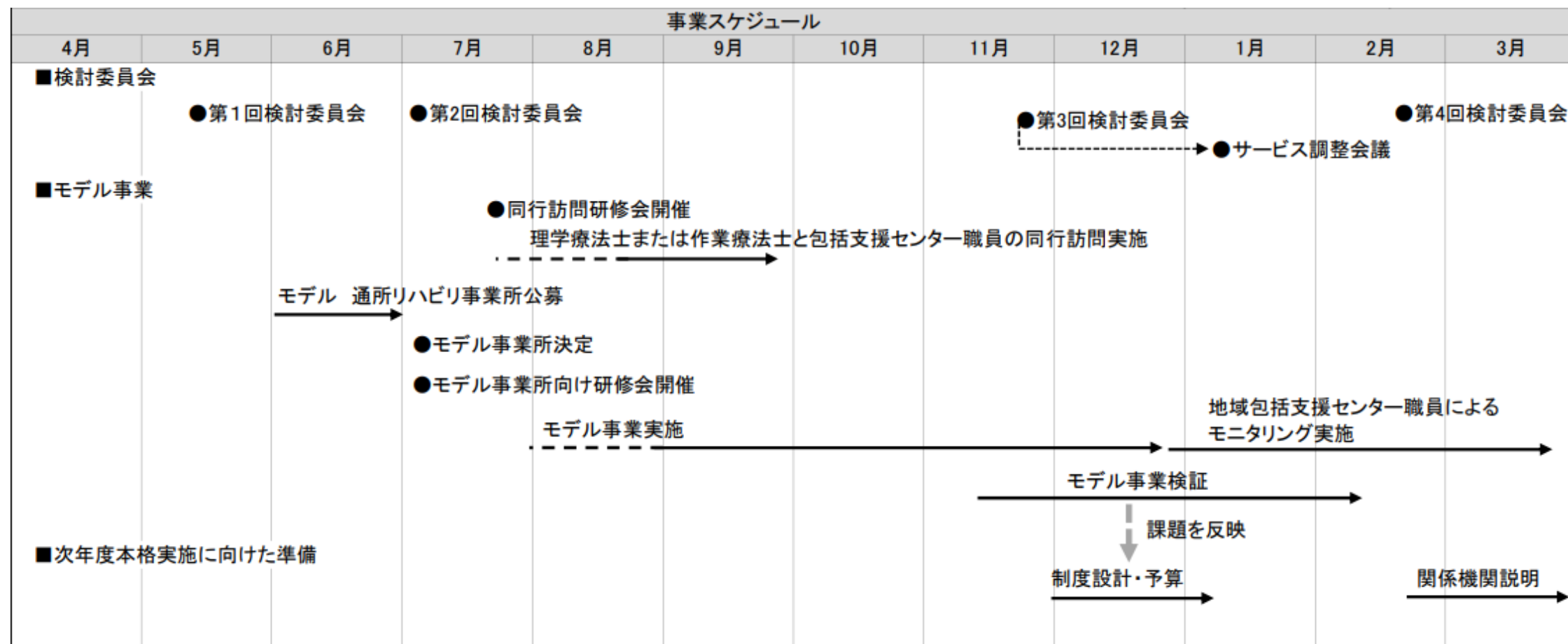
R6モデル事業の指標
※先行自治体参考値

介護サービスからの卒業・・・60%
(自立した生活の継続)

中断、既存サービスへ移行・・・40%

R6モデル事業 30人

R6 スケジュール



R7スケジュール

事業スケジュール											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●関係機関説明										
	●通所事業所募集										
		●指定審査		●通所事業所説明会	●本格実施開始						